

海藻の食物繊維「アルギン酸」のトップメーカー

「社員の思い」がカタチに。 ひとつと地球にやさしい新社屋で、富津から世界へ

株式会社キミカ

1941年に富津で創業した老舗企業、株式会社キミカ。アルギン酸の国内シェアは90%を超える、世界のトップメーカーです。今回は、昨年富津市に誕生した新社屋を訪ね、取締役の笠原善太郎氏にお話を伺いました。



2022年富津市に完成した新社屋

—キミカの製品「アルギン酸」とはどんなものですか？

アルギン酸は、コンブやワカメなどの海藻の食物繊維です。自然由来の安心安全な素材として、食品や医薬品、化粧品、繊維加工など幅広い分野で活用されています。

パンや麺の食感を良くする効果があることからコンビニのサンドウィッチや即席麺に配合されているほか、冷凍食品やアイスクリーム、歯磨き、口紅にも使われるなど、実は身近な素材です。

—富津市に誕生した新社屋、素敵な外観が地域で話題になっていますね。

ありがとうございます。おかげさまで当社の売上は堅調に伸びており、旧社屋は手狭になっていました。そこで、創立80周年を記念して社屋を新築することにしました。

—今までは、近隣の方でも「キミカ？知らないなあ。以前からあった？」というような具合で、認知度の低い会社だったんです。これはアルギン酸が一般消費者向けの商品ではないので仕方ないことですが、せっかくこの地で長年仕事をさせてもらっているのだから、皆さんに知ってもらいたいと思っていました。新社屋の完成を機に、多くの方に「ああ、キミカさんでしょ？」と言っていただけのように変わったのは嬉しい変化でした。

—設計には「社員の思い」がふんだんに盛り込まれたそうですね。

企業の設備投資では、まず幹部がコンセプトを決めて、あとは社員数等の定量的な要件で条件を洗い出していくことが一般的です。しかし、当社では、まず広く社員のアイデアを募り、その声を設計に落とし込むというアプローチに挑戦しました。

—外の景色を眺められる職場環境はとも好評です。

また、2階のラボに行くにはかならず1階のオフィスを通るような動線になっていて、生産・研究・管理部門が垣根を超えてコミュニケーションを取ることができるのが特徴です。

—環境性能にも優れていると聞きました。

空調には輻射空調と呼ばれるシステムを採用し、無風・無音で温度ムラがなく、からだに優しい環境を創出しました。この空調の熱源は井戸水ですので、エネルギー消費も半減しています。そのほかにも沢山の工夫を採り入れており、建築物省エネルギー表示制度（BELS認証）で最高位の五つ星を獲得しました。

—社員や地域の皆さんの評判はどうですか？

モチベーションも上がり働きやすいと言ってくれています。食堂はカフェ風の落ち着いた空間で、軽食を購入できる売店も併設しています。いざというときに横になれる救護室、気軽に使えるミーティングルーム、社内情報を映すことのできるモニターなども設け、誰もが快適に過ごせる環境が整っています。フェンスを取り払って前面の緑地を地域に開放したり、住宅街の景観と調和する低層で伸びやかな外観にしたりと、地域との一体感も意識しました。この新社屋をきっかけに、たくさんの方にキミカを知ってもらえたら嬉しいです。

22メートル×70メートルの柱のない大空間は、互いの顔がみえる、一体感を感じやすい環境



「何度もディスカッションを重ねて新社屋のコンセプトを作成しました。設計が社員の思いとズレていないか何度も確認しました」と話す取締役の笠原善太郎氏



陽光ふりそそぐ、開放的なラボ



建物中央のクロス階段

アルギン酸の製造・販売
株式会社キミカ
株式会社キミカ

本社所在地：東京都中央区八重洲2-1-1
キミカ千葉プラント：千葉県富津市大堀1029
事業内容：日本初、天然多糖類「アルギン酸」の工業的生産に成功。アルギン酸の専門メーカーとして、社会的ニーズに俊敏に応えつつ品質の向上、安定供給を進める。国内シェアは90%を超え、食品、医薬品グレードにおいては世界のトップクラス。
創立：1941（昭和16）年



ウッディなインテリアで
カフェのような雰囲気の社員食堂

Recruit 綺麗で快適な新社屋で働いてみませんか？
キミカでは地元の人材を積極的に採用しています。
詳しくはコチラ